平成20年５月25日
第41号

# 素流協News

平成20年５月25日発行・発行所　岩手県素材流通協同組合　〒020-0024 盛岡市菜園１丁目3-6（農林会館９階）
TEL 019 (652) 7227 / FAX 019 (654) 8533 / http://www.soryukyo.or.jp/index.html

## 岩手県素流協第５回通常総会

### 事業地区を拡大して『ノースジャパン素材流通協同組合』に改称

岩手県素材流通協同組合第５回通常総会及び通常総会報告会が、平成二十年五月十五日（金）ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィングにおいて開催された。

**【通常総会】**

開会に先立ち事務局より、総会成立報告（会員六四名中、本人出席十八名、委任状出席六名、書面議決書提出二六名）がなされた後、下山理事長の挨拶に引続いて、伊藤賢二氏（北上市、丸巳林産㈱）を議長に選出して議案の審議に入った。

審議は理事長より提出された一〇項目の議案について、事務局からの提案理由や内容の説明の後審議がなされ、議案の承認と役員の改選がなされた。

承認された議案のいくつかを紹介する。

▽平成十九年度事業報告（議案第1号）

組合員は昨年度末より十六名増えて六四名に、賛助会員は六名増えて十四名となった。

素材の取扱数量は、組合員の合板工場への出荷十三万八千八百八十六立方メートル（計画比一一一・一％、対前年比一二一・二％）、国有林材システム販売一万五千五百三十三立方メートル（計画比七四・四％）、集成材・土木用材などへの出荷六千二百七十六立方メートル（計画比三一・四％）計十六万四十三立方メートル（計画比九七・〇％、対前年比一一五・八％）となった。

また、一関市大東町にストックヤードを設置して、材の受入を開始したほか、素流協のホームページを開設した。

▽平成二十年度事業計画（議案第3号）

平成二十年度においても、組合員が生産したB材を主体に、合板工場等へ安定的、継続的に出荷して、合板工場等との円滑な需給関係をより強固にするとともに、素材供給を一層量的、質的に拡大することによって、組合員の経済的地位の向上と組合の経営基盤の強化、森林資源の有効活用を進める。

平成二十年度は次の事項に主眼をおいて事業を進める。

また、設立後五年が経過したことから、記念事業を開催する。

（一）素材の共同販売事業の積極的推進

素材の共同販売計画量を一九万六千立方メートルとする。

内訳　合板用素材一八万六千立方メートル（会員一六万六千立方メートル、システム二万立方メートル）、集成材・土木用素材一万立方メートル

（二）素材供給の量的・質的拡大と安定的・継続的供給の確立

スギ、アカマツ、カラマツ以外の樹種も取扱うとともに、事業地域を、岩手、宮城、秋田、青森、北海道に拡大する。

（三）組合員の生産活動助長と組合の経営基盤強化

素流協ニュースの定期発行を継続するとともに、立木需要動向を定期的に情報提供する。

（四）環境の維持増進を目指した森林資源の有効活用

間伐材等小径木の用途開拓と販路開拓を進める。

▽定款変更（議案第9号）

当組合の事業区域の拡大と国の法令改正に伴い変更する。

大きな変更内容は、名称をノースジャパン素材流通協同組合に、事業の地区を、北海道、青森県、秋田県、岩手県、宮城県の区域に、役員定数を1～2人増にする。

▽役員改選（議案第10号）

選考委員会の推薦により理事が選出され、理事会により次表のとおり理事長等が決定した。

## 新役員名簿（敬称略）

| 役職名 | 氏名 | 所属団体 |
|---|---|---|
| 理事長 | 下山裕司 | 県国生連 |
| 副理事長 | 石川勝也 | ㈱昭林 |
| 常務理事 | 高橋早弓 | 素流協 |
| 理事 | 佐々木良一郎 | 県森連 |
| 理事 | 横澤孝一 | 横澤林業㈱ |
| 理事 | 畠山信一 | ㈱吉本 |
| 理事 | 安倍和明 | 明和フォレステック㈲ |
| 理事 | 佐藤太一 | ㈲佐藤木材 |
| 監事 | 田鎖昇 | トーア木材㈱ |
| 監事 | 山中義一 | 山中林業 |

**【通常総会報告会】**

通常総会報告会は、多くの来賓の出席をいただいて、総会終了後引き続き開催された。

下山理事長は、挨拶において、来賓や会員の方々へのお礼と計画量をほぼ達成できたことに対する受入工場と会員への感謝を述べた後、事業範囲を北東北、北海道まで拡大し、組合の名称もノースジャパン素材流通協同組合に変更したことを報告し、一層のご支援とご協力をお願いした。

引き続き、高橋常務理事よりの総会での議決内容の概要説明、多量出荷者への表彰行事の後、来賓より祝辞をいただいた。

## 表彰者名簿（敬称略）

| |
|---|
| 上北森林組合 |
| 株式会社　イワリン |
| 三陸中部国有林材生産協同組合 |
| 気仙地方森林組合 |
| 有限会社　松田林業 |
| 株式会社　昭林 |
| 渡辺材木店 |
| 青森県国有林材生産協同組合 |
| 横澤林業　株式会社 |
| 釜石地方森林組合 |
| 山中林業 |
| 株式会社　高橋林業 |
| 有限会社　佐々木農林 |
| 東磐井地方森林組合 |

祝辞は、河野元信東北森林管理局長（代理下平敦森林整備部長）、高前田寿幸岩手県農林水産部長（代理西村和明林務担当技監）、小野田冨男岩手県森林・林業会議理事長（代理副理事長小笠原寛県森林整備協理事長）、井上篤博ホクヨープライウッド株式会社社長（代理福田忠一常務取締役）の各氏より、「素流協が県の木材流通、地域林業の活性化に寄与していることへの敬意と感謝」、更に「素流協の一層の発展と会員のますますの健勝の祈念」の内容の祝辞をいただいた。

その中で、ホクヨープライウッド㈱の井上常務は、昨年11月の合板百周年記念行事及び本年2月の国産材利用拡大木づかい推進運動での感謝状授与を紹介された。

「十九年は、合板資材として全国で一六三万二千立方メートル（目標計画の約55％）の国産材が使用され、岩手県内の合板関連工場では二二万六千立方メートル（全国の14％）を使用した。

木づかい推進運動での感謝状は、地元が一体となって国産材利用に取組んだ活動に対して、地元を代表していただいたものである。

今年は二五万立方メートル前後の国産材使用を計画している。

工場の加工機械は国産材用に更新してきており、なお一層の官産業界一体となった安定供給を切望する」と話された。

報告会終了後、会場を移して後藤健東北森林管理局青森事務所長の音頭でもって、懇親会が開始され、しばらくの懇談の後、副理事長となられた株式会社昭林石川勝也代表取締役の締めによって、通常総会、報告会の一切が盛会裏に終了した。

ウッドマイルズ講座（7）

# 木材利用の遠隔化

38、39号の本講座（5）、（6）で、我が国の木材製品の建築現場までの輸送距離とCO2排出量、その算出法を説明した。

その値が、平成2年から平成14年の12年間でどのように変化しているか説明する。

## 一　木材の使用量

我が国の製材用木材の使用量は、平成14年には、輸入材、国産材ともに平成2年の65%まで減少している。（図1）

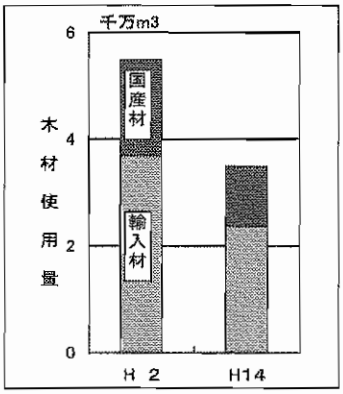



図1　木材使用量の推移

また、輸入材の産地別割合（図2）は、平成14年は米材の割合が減少し、欧州材が大きく割合を増大している。

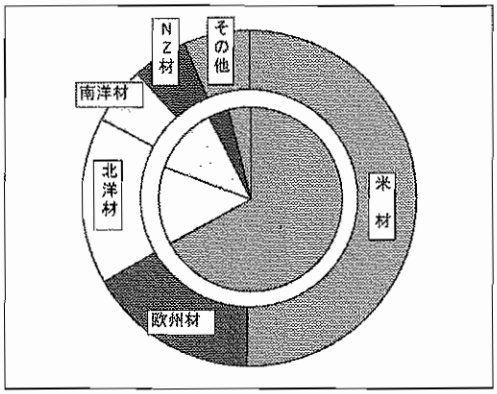



図2　輸入材の比率（内円：H2 外円：H14）

## 二　総輸送距離と総CO2排出量

12年間に木材使用量が65%に減少しているのに、総輸送距離、総CO2排出量とも90%程度とあまり減少していない。（図3）

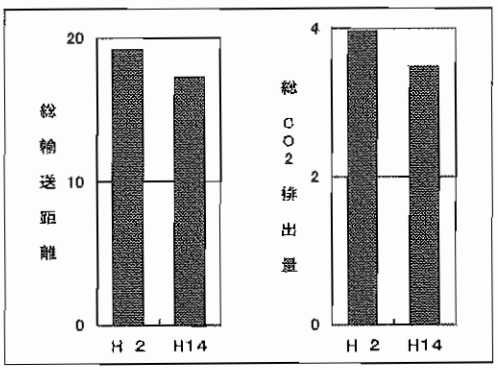



図3　総輸送距離（百万km・m³左図）、$CO_2$排出量（百万トン右図）

## 三　単位当たり輸送距離とCO2排出量

輸入材は遠距離の欧州材の割合が増大していることから、輸入材の単位当たりの輸送距離は約2千キロメートル増えており（37%増）、国産材も二八キロメートル増加している。（10%増）（図4）

単位当たりのCO2排出量も同様に増大しており、輸入材が44%、国産材が6%増となる。（図5）

輸送距離、CO2排出量は、木材利用量が減少しているため、総量では減少しているが、単位あたりでは増大している。

今後、木材の使用量が増える可能性があり、地域材を使っていくことの重要性を再認識する必要がある。

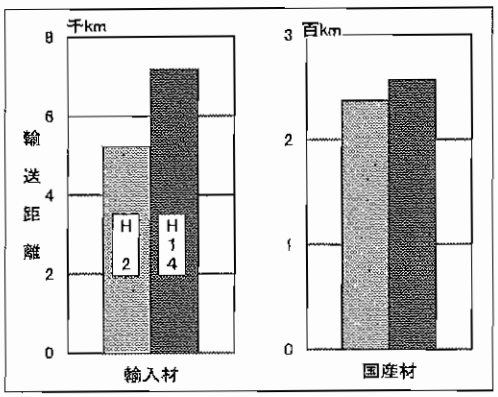



図4　単位当たり輸送距離

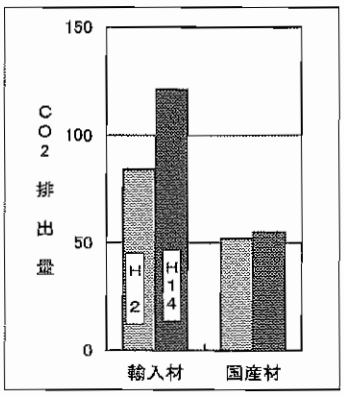
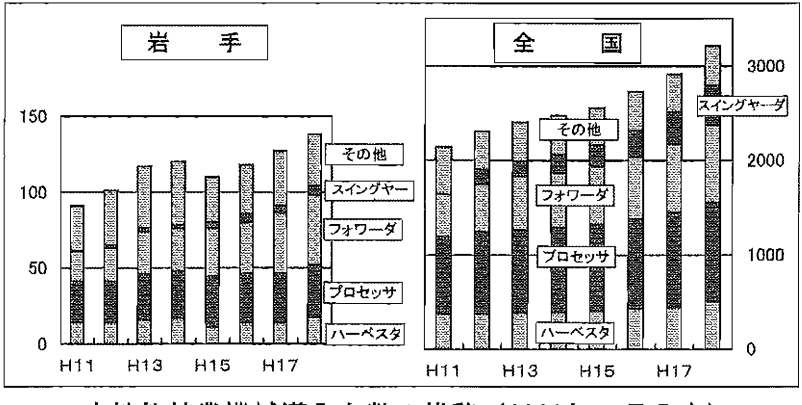



図5　$CO_2$排出量

## トピックス

岩手県の高性能林業機械は一三九台で全国第五位。

フォワーダが五年前の一・六倍に増加して四六台に。




高性能林業機械導入台数の推移（H20年２月公表）

一葉

# スギ材の乾燥（3）

**スギは割れの程度が大きい**

**三、収縮率**

木材の収縮は、木口面の年輪に沿った方向、年輪の直角方向、幹の長さ方向の三方向に発生する。（前40号参照）

②スギの収縮率

▽品種、高さによる違い（図3）

品種によって収縮率は異なっている。

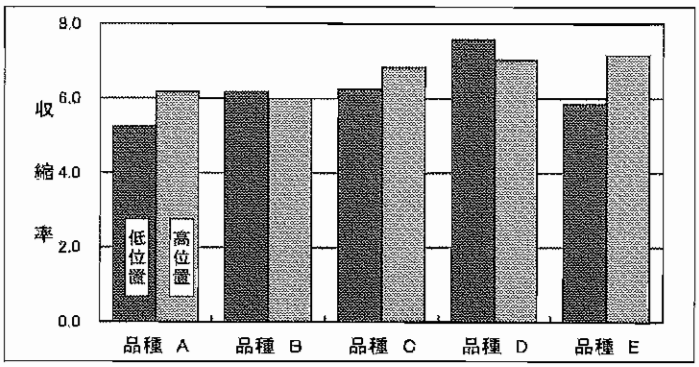



**図3　品種別、高さ別収縮率（材の外側）**
**低位置：高さ0.3～1.0m、高位置：高さ6.0～8.0m**

また、樹幹の低い位置と高い位置の収縮率は、品種によって異なっており、一定性は認められない。

▽容積密度による違い（図4）

容積密度が大きいほど、すなわち重い、硬い材ほど収縮率が大きくなる傾向がある。

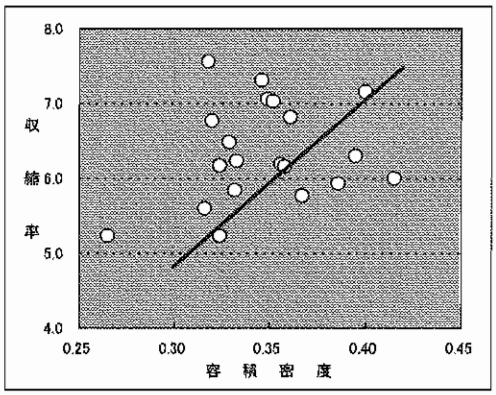



**図4　容積密度と収縮率の関係**

冗談欄

## 「時期は五月」

今は五月。

五月晴、五月雨、五月女、五月病、五月人形、…と「五月」の付く言葉は多い。

「五」となると更に多い。

五色、五穀、五輪、五強、五経、五教、五戒、五悪、五善、五感、五味、五体、五木、五大陸、五大洋、五街道、五大湖、五人衆、…

北京五輪は、間もなくだが、五川ならぬ四川大地震の大惨事でそれどこではないようだ。

五欲とは、財欲、色欲、食欲、名誉欲、睡眠欲を言うらしい。

これらの欲望は人間の本能で、年代とともに増減し、その強さや時期が議論される。

色欲が早く消え、食欲が最後まで残るのは、衆目の一致するところである。

五欲の発現は、人間の成長する過程で必要なことであるが、強すぎると社会迷惑や犯罪を犯すこととなる。

節度を保つことが大切である。

そのための最善の方策がある。

「すべてを満たすことである。」

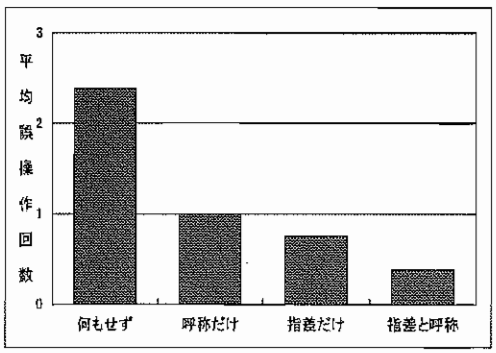
# 指差し呼称の励行で事故防止を

**「伐倒方向、ヨシ！」**
**「退避場所、ヨシ！」**

伐採作業中での事故が多発しています。

指差し呼称は危険を伴う作業の要所要所で集中力を高め、「うっかり、ぼんやり」などの集中力の限界を超えた事故を防ぐのに非常に有効です。

必ず「指差し呼称」で確認しながら作業をしましょう。




**指差し呼称による誤操作の低減**
（鉄道総合技術研究所）

## 平成20年４月分の販売実績

1　合板用出荷量を昨年４月と比較すると、会員生産は1.8倍となっており、工場別ではホクヨープライウッドが1.9倍、北日本プライウッドが1.4倍となっている。樹種別に見ると、カラマツ、アカマツは1.1倍と若干増大した程度であるが、スギが2.6倍と著しく増大している。
2　その他（合板用以外）の出荷量は、昨年４月の約65％の量となっている。
3　年間計画量に対する１月あたりの累積出荷量の割合（目標達成率）を8.3％とすると、今月の合板用出荷はほぼ計画どおりの進捗状況となっている。

（㎥、％）

| 区分 | 出荷者 | 樹種 | 長級 | 販売先 ホクヨープライウッド㈱ | 北日本プライウッド㈱ | その他 | 計 | 累計 | 割合 長級別 | 樹種別 | 目標達成率 | 19年度計画量 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 合板用 | 会員生産 | スギ | 2.0 | 5,252 | 1,929 | | 7,181 | 7,181 | 64.0 | | | |
| | | | 2.1 | | 40 | | 40 | 40 | 0.4 | | | |
| | | | 4.0 | 3,230 | 778 | | 4,007 | 4,007 | 35.7 | | | |
| | | | 計 | 8,482 | 2,747 | | 11,228 | 11,228 | 100.0 | 68.6 | | |
| | | カラマツ | 2.0 | 1,401 | 64 | | 1,464 | 1,464 | 83.7 | | | |
| | | | 2.1 | 35 | | | 35 | 35 | 2.0 | | | |
| | | | 4.0 | 250 | | | 250 | 250 | 14.3 | | | |
| | | | 計 | 1,685 | 64 | | 1,749 | 1,749 | 100.0 | 10.7 | | |
| | | アカマツ | 2.0 | 2,542 | 328 | | 2,870 | 2,870 | 84.6 | | | |
| | | | 4.0 | 335 | 189 | | 524 | 524 | 15.4 | | | |
| | | | 計 | 2,877 | 517 | | 3,394 | 3,394 | 100.0 | 20.7 | | |
| | | その他針 | | | | | | | | | | |
| | | 計 | | 13,044 | 3,328 | | (52) 16,371 | (52) 16,371 | | 100.0 | 9.9 | 166,000 |
| | 販売システム | スギ | 2.0 | 93 | | | 93 | 93 | | | | |
| | | | 4.0 | | | | | | | 64.2 | | |
| | | カラマツ | 2.0 | | | | | | | | | |
| | | | 4.0 | | | | | | | | | |
| | | アカマツ | 2.0 | 52 | | | 52 | 52 | | | | |
| | | | 4.0 | | | | | | | 35.8 | | |
| | | 計 | | 145 | | | 145 | 145 | | 100.0 | 0.7 | 20,000 |
| | 計 | | | 13,189 | 3,328 | | 16,516 | 16,516 | | | 8.9 | 186,000 |
| その他 | 会員生産 | スギ | | | | 329 | 329 | 329 | | 60.7 | | |
| | | カラマツ | | | | 126 | 126 | 126 | | 23.2 | | |
| | | アカマツ | | | | 13 | 13 | 13 | | 2.4 | | |
| | | その他針 | | | | 66 | 66 | 66 | | 12.2 | | |
| | | 広葉樹 | | | | 8 | 8 | 8 | | 1.5 | | |
| | | 計 | | | | 542 | 542 | 542 | | 100.0 | 5.4 | 10,000 |
| 合計 | | | | | 13,189 | 3,328 | 542 | 17,058 | | | 8.7 | 196,000 |

（　　）はストックヤードからの出荷量（内数）

## 落穂拾い

少し前に養老孟司著の「バカの壁」が売れに売れて大ベストセラーとなったが、現在も街の本屋には平積みされているので、この本を講読した方も多いことであろう。

この本に触発されたのか、その後、ジャナリストの菊池哲郎という人が「常識の壁」という本を書いている。

この本の中に書かれていることを要約すれば、〈私たちの周りには「常識の壁」が立ちはだかっている。

この世は常識で成り立っているようだけれども、この常識というものはけっこういい加減、あやふやなものである。

常識なんてしようのないものが多いのだ。

たとえば、今の若い者はダメだ、というずっと昔からの常識人のくりごとは、これまでずっとウソでありつづけてきた。

それなのに今もそう言われている。

今の若い人たちに対して、学力が低下したとか、礼儀を知らないとか、日本語を壊しているとか、コミュニケーションが下手だとか、と言うがとんでもない話だ。

ケータイで、インターネットで、つい10年前なら1日かかった検索を、今の若い人たちは1分で成し遂げる。

この生産性の高さは、ちょっと前に比べてけた違いだ。

その効率の良さを十分に生かしてすばらしい日本を作ることを妨げているのが、今時の常識人である。

常識とはひょっとして、人の能力に上限をつけて、非効率人間の既得権を守ろうとする道具なのではなかろうか?〉ということである。

落穂拾い子もこの「常識の壁」を読んで、書かれている内容のかなりの部分について同感であった。

私たちが深く関係する森林・林業・木材産業においても、これまで常識として判断され取り扱われてきた事柄が、現在及び将来に向かって常識として本当に通用するのだろうか、ということを検証して見る必要があるのではないかと感じたのである。

「常識の壁」をひっくり返した向こう側には、明るい世界があるかもしれない。